



～ エルダー制度 新任職員を育成する為の仕組み～

現在、新生会では600名を超える職員が働いています。毎年、新採用職員を迎え入れ、4月の新人研修を行った後にもエルダー制度によるフォローアップを行っています。

エルダー制度とは、先輩職員が新人職員の業務指導・育成を現場で行うシステムですが、先輩職員も新人だった頃の自分を思い起こしながら、起こしやすいミス、不安な心理の軽減など、お兄さん、お姉さん役としてのフォローもしていきます。

配属されたばかりの頃の不安げな表情、現場に慣れてきたとはいえ目の前の業務で余裕の無い日々を過ごしてきた新人達も1年が経つ現在は、自然な笑みと段取りよく業務を遂行する姿に心強く感じる日々です。

さあ、間もなく、新しいメンバーが加わってきます。新たな仲間と共に、リハビリセンター白鳥の礎を創っていきます。

昨春、入社し、何もかもが初めての日々で毎日、緊張していました。

エルダーを始め、先輩方に丁寧に教えていただき、親身に相談にものっていただき、今の私があります。

間もなく、新年度。引き続き笑顔で頑張っていきます！



小野 瑞姫

昔から人の為になる仕事をしたいと考えており、この仕事を目指しました。昨年の4、5月は覚えることばかりで、この先続けていけるだろうかと不安になりました。しかし、エルダーの方のお陰で、何とか成長することが出来ました。自分の学びを後輩にも伝えていきたいです！



松岡 和希

リハビリセンター白鳥の今をお伝えするニュースを、定期発行させていただきます。
是非、お目通しください。

リハビリセンター白鳥 職員一同